

令和7年度事業計画概要

業務執行理事 白井正和

社会福祉法人ロザリオの聖母会の 地域貢献と組織の展望

社会福祉法人ロザリオの聖母会は、地域とともに歩み続け、地域の課題に向き合うことを使命としています。そのためには、地域のニーズを的確に把握し、各事業所が日々の業務を通じて情報を共有する仕組みが求められます。

地域医療・福祉システムとの連携 と地域課題への対応

法人の強みを生かし、地域医療・福祉システムへの関与を強化し、福祉課題への対応を進めます。具体的には、左記の施策を検討します。

- 社会福祉法人の役割の明確化
- 地域診断および環境分析
- 他法人との協働事業推進
- 法人機能を生かした社会基盤の強化

組織の使命と人材確保

持続可能な事業運営のため、法人の使命と社会的意義を再確認

し、職場環境の向上を図ります。特に、人材確保・定着・育成のために専任担当者を配置し、左記の取り組みを進めます。

- ① 若手人材の採用強化
- ② 障害者雇用・外国人雇用の推進
- ③ 管理職の育成（キャリアアップ・価値観の醸成）

また、法人と職員が共通の価値観を持つことで、組織の一体感を高めます。

中長期ビジョンと経営基盤の強化

法人の安定と発展のため、左記の施策を推進します。

- 社会福祉法改正に伴う組織体制の見直し
- 情報公開と信頼の確保
- 財務基盤の安定化
- 公益的活動の推進
- 人材マネジメントの確立（採用・配置・異動、評価制度など）

法人および施設・事業所の将来像

- ① 中長期計画の策定
- ② 人材確保の推進（障害者・外国

人材の採用）

- ③ 利用者サービスの充実（権利擁護・意思決定支援）
- ④ 非常時対応の強化（BCP策定、福祉避難所の整備）

地域コミュニティへの貢献と事業 運営の見直し

法人として、地域課題の把握と事業運営の改善を進めます。執行役員体制のもと、課題と将来設計を見直し、次世代管理者の育成にも注力します。特に、対人援助以外の業務効率化を図り、ICTの活用を推進します。

組織再編とスケールメリットの活用

- 事業所の統合
- 共生型事業の展開

利用者サービスの向上

- ① 人権擁護・虐待防止・意思決定支援の強化
- ② サービス向上のための環境整備（地域連携推進会議の設置）

総合的な安全衛生対策

- ① 感染症対策の徹底
- ② 災害・防犯対策の強化
- ③ 労働環境の改善（相談室の設

置、法人産業医の配置）

公益的活動と社会貢献の推進

- 法人行事を通じた地域啓発活動
- 将来の人材育成に資する取り組み

本計画を通じ、地域社会に根差した福祉法人としての役割を果たし、持続可能な事業運営を実現していきます。

第三者委員紹介

法人本部 事務局

苦情解決のため法人本部および各事業所においては苦情解決責任者、苦情受付担当者を配置しています。

令和7年度は越川一幸氏、滑川里美氏となります。

第三者委員については、苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、配置することとなっています。



海上療養所医師就任挨拶

海上療養所 医師 坂元伸吾

この4月から常勤医として勤務することになりました坂元伸吾と申します。

最初に海上寮でお世話になりましたのは18年前で、精神科医になり立ての時でした。潮騒の聞こえる中、気持ちの良い海風に吹かれながらのびのびと生活している患者さんたち、それに優しく寄り添うスタッフの方々を目にして、私自身まで身も心も開放された気持ちになりました。みんな心に余裕があり、病気とともに生き、むしろ病気であるからこそ精神的に豊かな毎日を送っている。「精神科とはまさにこのような場所でないならばならない」、当時はつきりと考えたわけではありませんが、知らず知らずのうちにそう心に刻まれたように思います。

またこちらに非常勤で戻りましたのが5年前、暁の星病棟が新しくなったなどの違いはありましたが、往時と全く変わらない人々のおおらかさ、優しさ、本当に懐かしく、以前より体が弱ってはいる

ものの穏やかな笑顔の絶えない患者さんたちとまた海上寮時間を過ごすようになりました。

今回常勤医となり、何かと至らないところが多い人間ゆえ、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



事業所長就任挨拶

みんなの家

所長 林裕美子

この度、障がい者の就労促進事業所「みんなの家」の所長を拝命いたしました林裕美子と申します。

この3月までは、就労継続支援B型事業所「ワークセンター」で約7年にわたり大変お世話になりました。職人気質で作業に臨まれる姿や様々な場面で見せてくれた屈託のない笑顔は忘れることができません。皆さん、本当にありがとうございました。

さて「みんなの家」とはご縁があり、当会に入職してから2度目の配属となります。前回お世話になった時は、就労移行支援事業・就労継続支援B型事業の多機能型で展開していましたが、現在は就労定着支援事業も行っています。また千葉県内に16か所あるうちのひとつである東総就業センターもみんなの家と共に活動しております。「障がいのある方と企業をつなぎ、どなたでも働けるチャン

スを得て夢を叶えたい」と前任である辻内所長の就労支援への思いは熱く、地域や企業の方々と関わり築き上げた信頼と実績は計り知れません。浦島太郎のような状況で引き継ぐ者としては、かなりのプレッシャーですが、まずはここに通ってくださる皆さんが強みを生かし、これからも来て良かったと思える場所となるよう、経験豊富な職員と力を合わせ歩んでまいりたいと思います。そしてさらには地元の方と交流できる機会が増え、自然と足を運んでいただける「みんなの家」になるといいなと秘かに淡い夢を抱いているところです。

久しぶりにお会いした利用者の皆さんやご家族の皆さんから、温かいお言葉をかけていただきとても嬉しかったです。また気持ちを新たに一つ一つ新鮮な気持ちでやっていこうと思えます。至らぬところが多々ございますが、今後ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

香取就業センター

所長 辻内沙由里

この度、障害者就業・生活支援センター香取就業センター所長に就任いたしました辻内と申します。前任の岡澤所長からの引き継ぎを承りました。高萩福祉センターにある基幹相談支援センター香取障害者支援センター所長兼務での拝命となります。

香取就業センターは、障害のある方々が「働きたい」、「働き続けたい」気持ちを応援し、その実現に向けて就業支援と生活支援、そして雇用側の企業支援を行うという重要な役割を担っております。私自身、香取就業センターとの繋がりは、平成23年4月に香取圏域（当時の事務所は多古町）のセンターの立ち上げから、後3年間ほど業務に就かせていただきましたことがあります。

就業支援のやりがいは、福祉と企業を繋ぐというところにあります。一般企業の方々や様々な職種を経験できることや、「働きたい」という希望を障害のある方

や皆様と一緒に叶えていく楽しさを感じられることにありました。

ある時、企業社長様から「もつと遊んで生きなさい」と言われたことがあります。障害のあるなしに関係なく、色々な立場の方々、職種の方々と関わる中で、コミュニケーション力や話題の引き出し等を持つことの大切さを気づかせていただいた言葉でした。

改めて、目指すべきは、障害を理由にご相談者様の生活、就業の機会を制限されることのない、その可能性を最大限に発揮できる地域づくりを行うことと思っております。

就労施策や福祉施策の中でも障害者雇用や就労支援は重点項目の一つです。求められる役割、期待、その責任の重さを理解し、相談支援と就業支援の両面から、香取圏域の地域づくりに努力してまいります。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ロザリオ発達支援センター

管理者 川嶋美代子

この度、ロザリオ発達支援センターの管理者を拝命しました川嶋美代子と申します。13年間、聖母療育園にて重症心身障害児者のケアを学びながら実践してまいりました。7年ほど前にふたば保育園でお子さん達のケアをさせていただいた期間がありました。昨年の夏休み、7年ぶりに放課後デイサービスへ勤務に訪れました。当時保育園で関わらせていただいたお子さん達が7年経って大きく元気に成長した姿を見た時に言いようのない喜びを感じました。お子さん

たちの成長には保護者の皆様の日々の頑張りはもちろんのこと、職員の間わりも大きな意味を持っていると思います。お子さん達を微力ながらに支え、共に日々の成長を促し見守っていかれたら、と思っております。

さて、ロザリオ発達支援センターですが、昭和63年に聖母療育園の託児所として開設された「ふたば保育園」が始まりです。その後、平成15年に児童デイサービス事業として認可を受け、平成27年

4月に「ロザリオ発達支援センター」を開設した上で、障害児の通所事業と相談支援事業を継続してきました。現在では、多機能型事業所として児童発達支援センター、放課後等デイサービス、障害児の相談業務の三事業を展開し、地域の障害児とそのご家族に寄り添った支援を行っております。

小児期は一生の内のほんのわずかな時間ではありますが、計り知れない可能性を秘めた期間です。かけがえのない時間を共有させていただいているということをお頭に置いて、ご家族にとってもお子さんにとっても、安心してお過ごしいただける環境を提供していきたいと思えます。また、歴代の職員の皆様が築き上げてきた信頼関係を保ちつつ、お子さん一人一人の個性に向き合っていきたいと考えております。

まだまだ学ばせていただかなければならない事柄が山積みではありますが、今後もお子さん達の成長を職員全員が笑顔で分かち合える職場であり続けられるよう、日々精進していこうと思っております。皆様方のご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

ロザリオの聖母後援会に感謝

聖ヨセフつどいの家 係長支援員 小出薫

聖ヨセフつどいの家では、令和6年度「ロザリオの聖母後援会」活動におけるご寄附を賜り、安全で快適に送迎サービスが行えるよう送迎車両の入れ替えをさせていただきました。

当事業所では香取圏域に在住されている利用者や、地域の特別支援学校に通う児童に対して送迎サービスを実施しています。たいへん広大な面積をもつ香取圏域の特性もあり、送迎サービスがないとつどいの家を利用できないという方もいらっしやいます。

12月まで使用していた車両は、平成25年、つどいの家開所当初から使用していたもので走行距離は16万キロを超え、エンジンオイルの警告灯等が点灯することがしばしばあり、その都度、自動車会社へ修理に出していました。

12月27日に納車された新車両は主に水郷大橋を渡り、茨城方面の利用者の送迎に使用させていただいています。他コースの利用者が「新車いいなあ。燃費が良いよ。」

と話しているのを聞き、使用予定がない日に車両を変更し自宅まで送ると「新車乗ったよ。乗り心地良いよ。」と大変喜んでくれました。

今回の車両入れ替えに関しましては、往復40kmを超え、2時間以上の道のりをより快適に、なにより安全に送迎サービスを提供できる環境を整えていただき、利用者、職員ともども大変有意義な事と感じております。

あらためまして、聖ヨセフつどいの家の事業内容、運営にご賛同いただき、またご寄附をいただきました後援会の皆様に感謝申し上げます。大切に使用させていただきます。



自動遺伝子解析装置・空気清浄除菌脱臭装置 整備

(千葉県新興感染症対応力強化事業を活用)

聖母療育園 園長 山本重則

この度、聖母療育園は千葉県と締結している新興感染症に関する協定に基づき、千葉県新興感染症対応力強化事業の設備整備事業補助金を活用し、感染症対策強化と障害児者支援体制の充実を図るため、左記の2点を整備いたしました。

力業した
対応し2
症整備入
染設備し
興設活用
新業活用
千葉県
強化補助
千強補



バックマン・コルター社製 自動遺伝子解析装置



陰圧対応可能な 空気清浄除菌脱臭装置

当園は重症心身障害児者の入所施設を運営しており、重度の基礎疾患を持つ入所者が多いため、感染症発生時にアウトブレイクを起すリスクが高い状況にあります。今回導入した自動遺伝子解析

装置により、新型コロナウイルス感染症などの接触者の発症前診断など、感染症が疑われた場合の迅速な対応が可能となります。さらには、今後の発生が危惧されている新興感染症の診断にも対応可能となることが期待されます。

今回の整備により、短期入所利用者や外来患者における感染症の迅速で正確な診断が可能となり、感染症の病棟への持ち込みリスクを大幅に軽減できることが期待されます。また、重症心身障害児者だけでなく、より多くの法人内外の地域の様々の障害児者の方々の、新型コロナウイルス感染症などの感染症の早期診断に、さらには、地域の障害福祉サービスを利用できる方々の後方支援に役立てていきたいと考えています。

今後も、地域社会の障害児者の医療・福祉に貢献できるよう、職員一同努力してまいります。千葉県をはじめ、ご支援いただいた関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。

第31回ロザリオの聖母会合同研修会

聖マリア園 支援員 浅井佑哉

3月8日土曜日第31回ロザリオの聖母会合同研修会が中沢ホールにて開催されました。

今年度も集合形式での参加とZOOMを使用したのリモート形式の方法で開催しました。一部機材トラブルがありました。一部、役員の皆様のご協力のもと、無事に終了することができました。

また、今回も令和3年度〜令和6年度の年度別入職者研修の報告会も行い、各年度から年間を通じて精力的に行った活動が報告されました。

研究発表では6施設(聖家族園、佐原聖家族園、聖母療育園、海上寮療養所、香取就業センター、訪問介護事業所)の発表がありました。

理事長奨励賞は香取就業センターの「働き続けるために必要なこと」職場定着要因と離職原因に関する調査・日々の実践からの考察」が、敢闘賞は聖母療育園の「保育実習における新しいアプローチ」が受賞しました。

今回6施設の発表内容のうち3施設が人材・就職に関する内容(詳しくはお配りした会報をご参照ください)となっております。最近の少子化による人材難が本会にも現れおり、人材確保がより一層難しくなってきたということを実感しました。

年度別研修の報告会は皆さんが意欲的に学び、交流を深める様子がしっかりとまとめられ、とても素晴らしかったです。

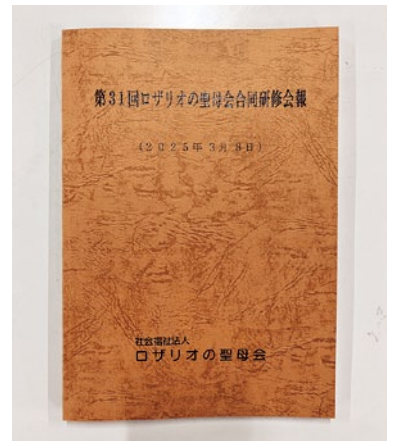
開催にご協力していただいた役員の皆様及び関係者の方々に感謝を申し上げます。



年度別研修の報告会



報告する入職4年目チーム



共生型通所介護事業の実施にあたり

聖マリア園 園長 飯島広司

2025年4月より、障害福祉サービスである聖マリア園（生活介護事業所）と介護保険サービスであるデイサービスセンター・ローザ（地域密着型通所介護事業所）が事業統合し、生活介護事業及び共生型通所介護事業所として新たな一歩を踏み出しました。（事業所の正式名称は「聖マリア園」ですが、通称「聖マリアデイサービスセンター」で活動しております。）

「共生型サービス」とは、介護保険サービスと障害福祉サービスを同一の事業所で一体的に提供できるサービス形態です。このサービスを実施することにより、高齢の方も身体に障害のある方も分け隔てなくご利用いただくことのできる事業所となりました。

幅広い年齢層の方が、同じ場所で同じ時間を過ごすことは、生活ペースの違い等から戸惑いも生じるかもしれませんが。しかしその反面、互いの活力につながる面もあります。刺激し合い、協力し合

い、理解し合うことで相乗効果を生み、熱気活力の中にも安らぎのある事業所となるよう、職員一同努めてまいります。

長年にわたりデイサービスセンター・ローザをご利用いただいた皆様、運営に携わってくださった皆様におかれましては、事業所名や活動場所が変更となるため、心淋しい思いや不安もあることと思いますが、これからの時間を共に歩み、笑顔あふれる日々を積み重ねて行きたいと思っております。関係機関の皆様におかれましては、今日までデイサービスセンター・ローザの運営に多大なご厚意を賜り誠にありがとうございます。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。事業形態は変わりますが、引き続き良質なサービス提供に努める所存でございます。これまでと変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

地域とのつながりを大事に！ ～医療的ケア児等のつどいの場～

香取障害者支援センター 香取市・神崎町・東庄町医療的ケア児等コーディネーター 森田裕子

令和6年度から当事者やご家族、地域支援者、地域の方々との交流を目的とし、医療的ケア児等のつどいの場を開催しています。

家族と一緒に参加したいとの声を大事に平日から土曜日開催に変更し、皆さんの声を基に『はじめましての会』『みんなで夏祭りを楽しもう』『防災について考えてみよう』『みんなでムーブメントを楽しもう』『TEA PARTY』など、様々なテーマで取り組んでいます。

つどいの場では、当事者やご家族同士の交流だけでなく、訪問看護師や旭中央病院（NICU・小児科）、学校教職員、行政職員など、多職種の方が参加されて、支援者間もつながりつつあります。また、放課後等デイサービスや生活介護事業所の事業所間交流もみられています。

運営には、市民、学生（高校生、大学生、看護学生、医大生）のボランティアの方にもご協力をいただき、社会福祉協議会からボランティア証明書を発行していただき

ました。今回のボランティアを機に医療や福祉を志す方が増えることを期待しています。

地域課題として、医療的ケア児者の利用できる施設・事業所が少なく、支援者の人材確保が難しい現状にあります。地道ではありますが一つ一つのつながりを大事に地域の支援体制を構築できるように取り組んでまいります。



ロザリオ発達支援センターの取組について

ロザリオ発達支援センター 支援員 渡辺美沙紀

一つ目は、現在ロザリオ発達支援センターで取り組んでいる静的弛緩誘導法の研修会の実施です。2回目となる今回は保護者や他施設職員を対象としました。この研修では、参加者が自身の健康を主体的に管理できるように、「大きく深く息をすること」の重要性を学びました。具体的には、ペアワークを通じて息をしやすい姿勢を体験したり、腹式呼吸によるリラクゼーション方法（静的弛緩誘導法）を実践したりしました。特に「2分30秒」から始められる手軽な健康づくりとして、参加者からは家庭や職場での活用を期待する声が多数寄せられました。

また、他事業所からのも是非事業所に来て教えて欲しいとの声をいただきました。2つ目は、近隣5事業所との「放課後等デイサービス意見交換会」です。この会では、八日市場学園での連絡会をきっかけに開催され、各事業所の職員配置や保護者ニーズへの対応等、多岐にわたる情報交換が行われまし

た。意見交換を通じて、統一的な支援の重要性や新たな支援方法への理解が深まり、参加者からは今後の継続的な交流を望む声が上がりました。これからも、ロザリオ発達支援センターは支援について、ご家族と地域と共に学んでいきたいと思えます。



スプリングコンサート

法人本部 係長 熱田恵美

平成31年3月。時はそこで止まってしまいました。コロナ禍により「スプリングコンサート」が中止。令和になり、7年。春の風と共に復活。少人数でしたが、音の広がりを感じることができ、幅広い年齢層が楽しめる曲目でした。

さあ行くんだ その顔を上げて
新しい風に 心を洗おう
（銀河鉄道999より）
そう、ここから
また始まります。



ロザリオの聖母会
スプリングコンサート
2025. 3. 28 (金)

プログラム

- マーチ・エイプリル・メイ
- ブルーバード
- 日本民謡メドレー
- 楽器紹介
- 笑点のテーマ
- 栄冠は君に輝く 野球応援コーナー
- 学園天国
- 銀河鉄道999

演奏 鏡子商業高等学校吹奏楽部

浦賀神社神輿野中区巡行廻り

執行役員 荒井隆一

2月1日、2日に行われました野中区巡行廻りにロザリオの聖母会から神輿の担ぎ手として5名の職員が参加させていただきました。このお祭りは12年に一度行われる貴重な機会であり、参加した職員にとっても良い経験となりました。また、当日は法人内の様々な事業所にも足を運んでいただき、お囃子なども披露していただきました。



日頃は目の前でお神輿を見たり、お囃子の音を生で聞くことができな利用者さん達にとっても良い時間となりました。利用者さん達の笑顔や手を叩いて楽しむ姿、それを見ながら一緒に楽しんでいる職員の姿がとても印象的でした。

最後に、今回様々なご配慮をしてくださいました氏子総代を筆頭に、実行委員会の皆様、野中区長をはじめとする区の役員の皆様、本当にありがとうございます。ぜひ、12年後もよろしくお願いたします。



「黙禱」の日に合わせて、防災と減災の話をしませんか

法人本部 主任施設管理員 日高好規

震災を経験した、その人にか
か語れない『言葉』があります。
「もっと話したかった」「もっとで
きるがあった」「もっと時間
が欲しかった」災害の光景は、今
も忘れられない記憶となって刻ま
れています。東日本大震災から14
年、「災害を自分事としてとらえ
よう」と、あふれる心の声が聞こ
えてきます。

災害は忘れたころにやってきま
す。関東大震災（1923年）、
阪神淡路大震災（1995年）、
東日本大震災（2011年）、能
登半島地震（2024年）と、大
きな震災は起きています。

政府の地震調査委員会は、南海
トラフ地震について、30年以内に
マグニチュード8〜9クラスの
地震が70〜80%の確率で発生す
るとしています。また、東京都
は将来起こるであろうと言われ
ている直下地震の被害想定を見
直しました。首都直下地震によ
る被害想定は、死者約6150
人、負傷者約9万3400人、避

難者約299万人、帰宅困難者約
453万人と推計されています。
「黙禱」の日、「災害を自分事と
してとらえよう」と、身近な人と
話をしませんか。それは、防災と
減災の一步となることと思います。

寄附者御芳名

令和7年
1月1日
〜
3月31日

学校法人愛心学園

白百合幼稚園 様

江波戸 隆 夫 様

旭キリスト教会 様

嶋 倉 成 利 様

高 山 正 代 様

ヒゲタ醤油(株) 様

旭地区遊技場組合

組合長 小川憲二 様

伊 藤 憲 治 様



ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画

全ての職員が働きやすい環境を整備することによって、その能力を十分に発揮できるようにするとともに、子育て中の職員が、仕事と子育ての両立を図ることができるよう、次のように行動計画を策定する。

- 1 計画期間 2024年4月1日から2027年3月31日の3年間
第7期（2024、2025、2026年度）

2 内 容

目標1 【有給休暇の取得率】

- ①年次有給休暇の取得率を60%以上を維持する。
- ②取得日数の少ない部署の把握及び取得できない原因を検討する。
- ③取得日数の少ない部署の職場管理者に対して指導、並びに取得できない状況を改善し、取得しやすい環境に整える。

目標2 【妊産婦に対するの処遇配慮】

- ①妊産婦に対して、妊娠判明時から産後1年間は夜勤の免除をする。
- ②妊娠判明時から産後1年間は就業規則上の休日労働・時間外労働をさせない。
- ③上記2項については、本人の希望する場合のみとする。

目標3 【子育て中の職員に対するの処遇配慮】

- ①未就学児の育児を理由に常勤からパートタイマーへ勤務体系の変更を希望する職員に対して、いつでも常勤に戻れるという条件での変更を認める。

目標4 【子の看護休暇制度を上回る処遇改善】

- ①子の看護休暇を取得しやすくするため、年5日の無給休暇の内3日を特別有給休暇扱いとする。

3 対 策

- ・法人の月報（職員向け広報紙）や法人内LANを活用して周知・啓発を実施します。また取得結果を職員に公開します。
- ・管理者は、有給休暇の取得状況を把握し、取得しやすい環境づくりに努めます。管理者に対する研修を行います。
- ・管理者は、処遇配慮の対象となる職員の把握に努め、この行動計画についての説明と希望の有無を話し合い、希望に添う業務上の配慮を実施します。

ロザリオの聖母会女性活躍推進法行動計画

女性がその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍することが、一層重要となっていることに鑑み、男女社会基本法の理念にのっとり、次のように行動計画を策定する。

- 1 計画期間 2024年4月1日から2027年3月31日の3年間
第4期(2024、2025、2026年度)

2 内容

目標1 【管理職(課長級以上)に占める女性割合を40%以上を維持する。】

- ①中間管理職基礎研修を積極的に活用する。
- ②育児、介護、家庭、地域、自己啓発等職員の「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」に柔軟な職場環境を整える。
- ③11項目の点検とその評価に取り組み、その内容を内部へ周知し外部へ公表する。

目標2 【有給休暇取得率60%以上を維持する。】

- ①年次有給休暇の取得率を60%以上を維持する。
- ②育児、介護、家庭、地域、自己啓発等職員の「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」に柔軟な職場環境を整える。
- ③11項目の点検とその評価に取り組み、その内容を内部へ周知し外部へ公表する。

3 対策

- ・法人の月報(職員向け広報紙)や法人内LANを活用して周知・啓発を実施します。
- ・11項目の点検評価を実施し、管理者に報告します。また、点検評価を内部へ周知し、外部へ公表します。

ロザリオの聖母会では、女性の活躍に関する状況把握として以下の11項目の点検とその評価に取り組み、その内容を内部へ周知し外部へ公表します。

【基礎項目】

| | | | | | | | |
|---|---|---------------------------|--------------|-------|--------|------|-------|
| ① | 1 | 採用した労働者に占める女性労働者の割合(区) | 令和5年度 実績値 | 常勤 | 66.7% | 非常勤 | 78.3% |
| ② | 2 | 男女の平均継続勤務年数の差異(区) | 令和6年 4月1日 | 常勤男 | 13.3年 | 非常勤男 | 17.1年 |
| | | | | 常勤女 | 12.1年 | 非常勤女 | 14.9年 |
| ③ | 3 | 労働者の各月ごとの平均残業時間数等の労働時間の状況 | 令和5年度 実績値 | 常勤 | 4時間00分 | 非常勤 | 44分 |
| ④ | 4 | 管理職に占める女性労働者の割合 | 令和6年 4月1日 | 45.5% | | | |

【選択項目】

| | | | | | | | |
|---|---|---|---------------|-------|--------|-------|-------|
| ⑤ | 1 | 採用 ・労働者に占める女性労働者の割合(区)(派) | 令和6年 4月1日 | 常勤 | 61.6% | 非常勤 | 77.1% |
| ⑥ | 2 | 配置・育成・教育訓練 ・男女別の将来の人材育成を目的とした教育訓練の受講の状況(区) | 令和5年度 実績値 | 男 | 34.6% | 女 | 65.4% |
| ⑦ | 3 | 継続就業・働き方改革 ・有給休暇取得率(区) | 令和5年度 実績値 | 常勤 | 77.7% | 非常勤 | 90.3% |
| ⑧ | 4 | 評価・登用 ・男女別の1つ上位の職階へ昇進した労働者の割合 | 令和6年 4月1日 | 男 | 4.2% | 女 | 4.5% |
| ⑨ | 5 | 職場風土・性別役割分担意識 ・セクシュアルハラスメント等に関する各種相談窓口への相談状況(区)(派) | 令和5年度 実績値 | 常勤 | 100.0% | 非常勤 | 0.0% |
| ⑩ | 6 | 再チャレンジ(多様なキャリアコース) ・男女別の再雇用又は中途採用の実績(区) | 令和5年度 再雇用 | 常勤男 | 0.0% | 非常勤男 | 0.0% |
| | | | | 常勤女 | 0.0% | 非常勤女 | 0.0% |
| | | | 令和5年度 中途採用 | 常勤男 | 33.3% | 非常勤男 | 27.8% |
| | | | | 常勤女 | 66.7% | 非常勤女 | 72.2% |
| ⑪ | 7 | 男女の賃金の差異に関する実績 | 令和5年度 実績値 | 全労働者 | | 76.3% | |
| | | | 常勤 | 81.8% | 非常勤 | 92.1% | |

みんなの家



支援員

齋藤 浩美

4月よりみんなの家に配属となりました。不慣れなことも多く失敗することもあると思いますが、一生懸命頑張ります。

聖家族園



支援員

菅澤 剛

初めまして、今年4月から聖家族園で働くことになりました菅澤です。不安と心配がありますが、皆様の力になれるよう、一生懸命頑張ります。

聖母療育園



支援員

霜崎 ビンスラバ

4月1日から聖母療育園で働くことになりました霜崎です。みんなと仲良くなりたいので気軽に話しかけてください。よろしくお願ひします。



看護師

鈴木 孝範

4月より海上寮療養所に配属となりました。患者様に安心して頼られるよう、精一杯努めてまいります。よろしくお願ひいたします。



看護師

佐久間 莉香

この度、海上寮療養所に入職いたしました。一日でも早く慣れ、皆様のお力になれるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。

今年度の新入職員



聖ヨセフつどいの家



支援員

三上 真那

仕事を早く覚え、利用者さんに寄り添った支援ができるように頑張りたいと思います。至らないところもあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。



支援員

大石 泰我

4月より支援員として勤務することになりました。色々ご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひいたします。

佐原聖家族園



支援員

伊藤 駿

私は伊藤駿です。4月より佐原聖家族園に配属となりました。慣れないことが続くと思いますが、皆様や職員の方々と仲良くなれるよう頑張ります。

聖母療育園



支援員

ファン・キム・トゥアン

はじめまして、私はファン・キム・トゥアンです。ベトナムから来ました。趣味は料理を作ることです。これから頑張りますので、よろしくお願ひします。



支援員

グエン・ネイ・ホン・タム

私はグエン・ネイ・ホン・タムです。2月から聖母療育園に勤務することになりました。介護業界の仕事は初めてなので、頑張っていきたいと思っています。



理学療法士

関 百合子

理学療法士としてご本人様ご家族様の思いを少しでも叶えられるよう多職種の皆様と連携してまいります。よろしくお願ひいたします。



事務員

伊藤 桂子

4月から常勤として勤務させていただきます。海上寮の力になれるよう頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



係長事務員

丸田 晃弘

4月から勤務させていただきます。これまで病院で勤務してきた経験が少しも役にたてば嬉しいですが、いろいろ教えていただくようお願いいたします。

新任者紹介

法人本部



事務員

宮内 悟

はじめまして宮内悟と申します。一日でも早く仕事に慣れ、お役に立てるよう精進して参ります。ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

佐原聖家族園



事務員

池田 喜代子

1月より常勤として勤務させていただいたこととなりました。これからもより一層と頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

聖家族園



支援員

石井 啓子

利用者の方々と関わりを通して、新しい自分を発見する可能性に、不安もありますが、ワクワクしています。頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

聖マリア園



支援員

ブー・テイ・ザン

はじめまして。ブー・テイ・ザンと申します。ベトナム・ハノイの出身です。精一杯頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

旭市こども発達センター



支援員

中村 彩乃

4月より常勤職員として勤務させていただきますことになりました。笑顔で楽しく仕事に取り組みたいと思ひています。よろしくお願ひいたします。

<職員募集 高校生・短大・専門・大学生・一般>



社会福祉法人 ロザリオの聖母会

— 光のあたりにくい人々とともに歩む —

法人説明会・見学会開催

- 日時
- ①2025年 5月17日 (土) 10:30～14:30
 - ②2025年 6月28日 (土) 13:00～16:00
 - ③2025年 8月 2日 (土) 13:00～16:00
 - ④2025年 8月20日 (水) 10:30～14:30
 - ⑤2025年10月18日 (土) 10:30～14:30

※上記日時①④⑤は昼食をご用意しております。
交通費補助がございますので遠方の方はご相談ください。

場所 法人本部・旭市内運営施設等

児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉
制度の狭間にいる方の相談支援など



「誰かの役に立ちたい」を
実現できる職場です！！

お申込方法

QRコードよりお申込みください



法人本部

社会福祉法人ロザリオの聖母会
〒289-2513 千葉県旭市野中4017
TEL : 0479-60-0600 FAX : 0479-60-0660
E-mail : honbu@rosario.jp

法人紹介動画
コチラから⇒



私のオシメン file 20

旭市こども発達センター

【出身地】静岡県掛川市
 【職種】支援員
 【職歴】2013年4月～聖母療育園
 2018年12月～ロザリオ発達支援センター
 2023年4月～旭市こども発達センター
 【趣味】バスケットボール、カラオケ



入職したきっかけは？



1 福祉・保育系の大学へ行き、重心の病院へ実習に行ったことが大きなきっかけとなりました。利用者さんの笑顔に元気をもらいながら、今の自分が当たり前ではないこと、そんなことに気づかされた実習でした。そして福祉の仕事がしたいと思い、ロザリオの聖母会へ入職しました。



あなたが感じる今の職場の魅力は？



2 子どもたちの笑顔です！クシャッと笑った顔と元気いっぱいの声を聞くと、今日もがんばるぞー！と元気を貰えます。また、旭市こども発達センターの職員はチームワークが良く、一人ひとりの得意な分野を活かせる環境も魅力の一つです。



今後の意気込みは？



一緒に子育てをしていくという気持ちで、様々な角度から親御さんや子どもたちに寄り添い、一緒に成長を見守りたいです。

Photo Gallery

★旭市こども発達センター★



はらぺこあおむしで
ボタンの練習

★聖母療育園★



鬼と写真を撮ったよ



素敵な音色を奏でたよ♪

★聖マリア園★



豆まき楽しんでますね 🐼 ♪

★聖母通園センター★



成人おめでとう！



お店屋さん★

マリアデイサービス



満開の桜と笑顔♪

★聖家族園★



鬼は外!福は内!



美味しい食事を食べました★

★聖ヨセフつどいの家★



よ〜し飛ぶぞ〜!



久しぶりの外食♪

★佐原聖家族園★



利用者一泊旅行

ロザリオ桜だより



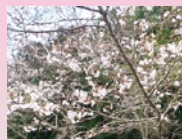
マリア像



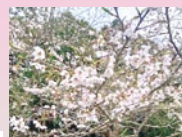
戸塚記念館



佐原聖家族園



高萩福祉センター



ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600
(担当 ボランティア係)

職員募集のお知らせ

精神科・障害児者医療に携わる看護師、入所・通所施設の利用者の支援員、各施設・事業所の事務員を募集しています。

◆随時面接を行っていますので、本部事務課までご連絡ください。

TEL 0479(60)0600

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトを
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

医療保護施設

海上療養所
就労継続支援B型事業所

ワークセンター

医療型障害児入所施設・療養介護事業所

聖母療育園

生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点)

聖母通園センター

児童発達支援事業・放課後等デイサービス・相談支援事業

ロザリオ発達支援センター

児童発達支援事業

旭市子ども発達センター

障害者支援施設

聖マリア園

障害者支援施設

聖家族園

障がい者の就労促進事業所

みんなの家

生活介護事業所

聖家族作業所

共同生活援助事業所

ナザレの家あさひ

地域包括支援センター

旭市中央地域包括支援センター

高齢者支援事業

ロザリオ高齢者支援センター

ロザリオ訪問介護事業所

障害者支援施設

佐原聖家族園

生活介護・放課後等デイサービス

聖ヨセフつどいの家

共同生活援助事業所

ナザレの家かとり

地域生活支援センター

友の家

中核地域生活支援センター

海匠ネットワーク

障害者就業・生活支援センター

東総就業センター

香取市相談支援事業

香取障害者支援センター

障害者就業・生活支援センター

香取就業センター



このロゴマークは、師イエズス修道女会 北爪悦子修道女 により作成されました。